

外傷・整形作業療法チーム

整形外科の作業療法

人工関節や頸椎疾患の患者様に対して、術前評価を行い、術後はプロトコルに従ってADLの回復に向けた作業療法を行います。患者様のニーズを聴取して生活スタイルや仕事内容を把握し、その必要な生活動作の模擬的環境を整えて生活動作練習を行っています。それぞれの患者様に合わせた、その人らしい生活を取り戻せるように援助しています。

人工関節プロトコル (2週間パス)

- ・ **手術前**
術前のADL評価
- ・ **術後1日目**
初期離床(トイレ動作練習)
- ・ **術後2～7日目**
ADL動作練習
- ・ **術後8～14日目**
自宅や仕事環境に応じたADL動作の獲得と退院時指導



頸椎疾患プロトコル

- ・ **手術前**
術前のADL評価
- ・ **術後1日目**
ベッド上での動作評価・Gup座位
- ・ **術後2～7日目**
巧緻動作練習、ADL動作練習
- ・ **術後8日目～**
自宅や仕事環境に応じたADL動作の獲得と退院時指導



初期離床(トイレ動作練習)

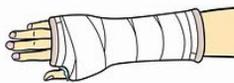


生活動作練習



ソックスエイド指導

外傷の作業療法



外傷で搬送され上肢外傷を併発している患者様に対し、手術までの期間の良肢位保持や受傷部以外の隣接関節の機能維持を行います。

手術後には、運動許容範囲内での上肢活動を行い、必要に応じて自助具を作成して生活動作の獲得を目指しています。



関節可動域訓練



自助具作成場面

多職種連携と情報共有



カンファレンスでは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフなどの多職種が参加しています。一人一人の患者様の状態について、現況を多職種で情報交換したり、今後退院や転院を進めるための援助の必要性やその具体的方法を検討する場になっています。作業療法士の視点として、ADL能力や認知機能、練習状況などを報告して、多職種で情報共有しています。



カンファレンスの様子



勉強会の様子